

推進テーマ

園から小学校への接続を 考えた連携の在り方

六浦南地区
南六浦保育園
六浦南小学校

推進テーマ設定の理由

連続的な支援を行うことで、子ども理解が進み、子ども一人ひとりのよさや可能性を引き出す保育・教育の充実をより図ることができる。その結果として、自尊感情を高めることができることを期待してこのテーマを設定した。

推進内容

園での生活についての情報交換を図り、それらをふまえたスタートカリキュラムの在り方について探る。また、園の職員とともに接続期の連携や子ども理解について研修や話し合いを行い、連続的な支援を図る連携の在り方について探る。

今年度の重点課題

～今年度力を入れたこと～

2年目 一歩進めて

全職員の理解を深めていこう！

児童と園児の交流

- ・偶然！公園での出会い
- ↓
- ・小学校へ招待
 - 10月：クイズや秋あそび
 - 2月：学校探検

職員同士の情報交換・研修

- ・小学校教諭（1年に限らず）の保育参加
- ・保育園職員の小学校1年生の授業参観
- ・保育園や小学校の運動会見学
- ・**合同研修（全3回）**

連携推進事業の実際

第1回 夏季合同研修会

令和7年8月29日（金）@六浦南小

- ・改めて、「架け橋期」って何？
- ・架け橋期に、保育園や小学校で大切にすることは何？
- ・全職員で「子ども観」「保育・教育観」が共通理解できている？



横浜市幼保小連携推進地区
六浦南地区 幼保小合同研修会

子どもの姿で考えよう
幼保小の架け橋プログラム
～「遊びは学び」から続く小学校の学び～

講師：横浜市こども青少年局
幼保小連携担当架け橋期
コーディネーター
原 南実子 先生

架け橋期の保育・教育で大切なことを、
園校全職員で共通理解しよう！

○小学校の職員が 1 日保育参加

小学校

- ・発達に応じた場の設定や、子どもたちが思い思いに発想を広げられる材が参考となった。
- ・園児の実態がわかった。特に年長児の様子は、1年生へのつながりを意識して見ることができた。
- ・一緒に遊ぶ経験を増やすことができた。
- ・園の先生方の指導や配慮、思いに触れ、同じところがたくさんあることがわかった。

保育園

- ・小学校の教員との交流を通して、就学（小学校）への興味や意識が高まった。
- ・子どもたちから小学校の先生への質問コーナーでは、小学校のイメージができるようになった。
- ・一緒に遊んだことで、小学校の先生が身近な存在に感じることもできた。

しょうがっこうって、どんなところ??

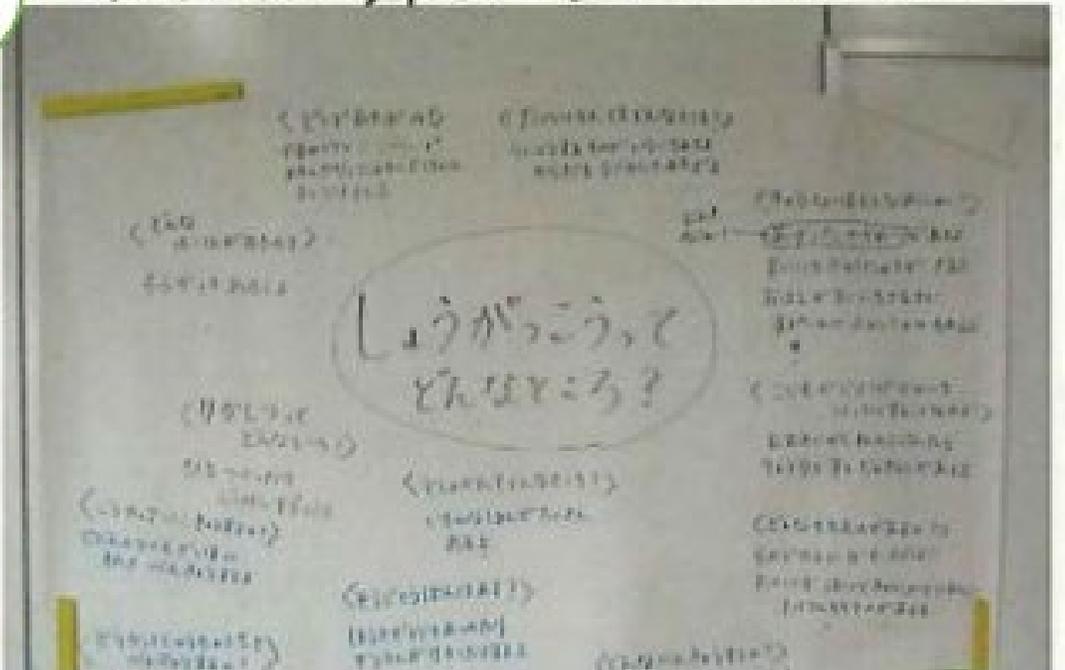
～ 六浦南小学校の先生方が来ました!! ～

先生にきてみよう!!

としょかんって
どんな所?



たくさんの質問に答えてもらいました♡



○ 1年生の算数の授業を南六浦保育園の職員が参観



授業後の職員交流では、互いに大切にしていることが同じであることを確認できた。
改めて、「これでいいんだ」という思いをもつことができた。また、更に深めるべきことや、もっとチャレンジすべきことを意識するきっかけとなった。

保育園

- ・ 友達の意見に「いいね」をたくさん送る先生や子どもたちの姿があった。
- ・ 「ナイスチャレンジ」と、先生も子どもたちも前向きな発言が多かった。
- ・ ほっとできる空間づくりや共感・承認など、大切にしていることは保育園と同じだと感じた。

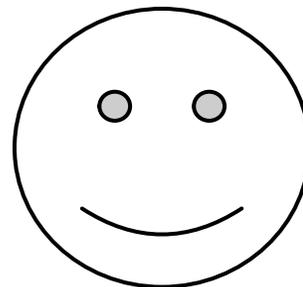
○秋探しに行った公園で1年生と年長児が出会って、一緒に遊ぶ。



- ・いっしょにあそぼう。
- ・また今度あそぼうね。

小学校

- ・だれだろう。
- ・南六浦保育園の子たちだ。

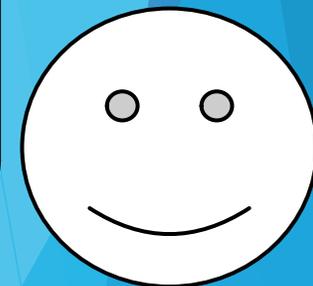


保育園

- ・小学生がいてびっくりした。
- ・いつもの先生もいたよ。
- ・小学生も公園で遊ぶんだ。
- ・天気がいいからかな。

どんぐりをひろって
るんだあ。
このどんぐりもあ
げるよ。

最後はみんなで感想を伝え
合ってお別れをしました。



○年長児を教室へ招待

子どもたちが考えた
クイズを出したり...

秋のものを使った
おもちゃで一緒に
遊んだり...

小学校

- お土産もわたしたいな。
- また会えて嬉しいな。
- 楽しんでほしいな。
- 一緒に遊ぶとにこにこだ。

- 小学校でもぬりえがができるんだね。
- 小学校の「かりんの実」いいにおい。
- クイズおもしろかった！
- お兄さんお姉さん優しかった。・

第2回 合同研修会

令和7年12月15日（月）@南六浦保育園

デザインシートを使って 思いを共有しよう！

テーマをひとつ決めて、とことん話し合おう！今回は、子どもたちの「わくわく」って？どんな姿？どんな支援をしている？園や小学校の思いを共有。

やっぱり同じ思いだ！と感じられる、確かな交流ができた。

職員の交流（思いや考え、支援の具体の交流）があるから、スムーズな連携につながることを改めて実感できた。



講師：横浜市こども青少年局
幼保小連携担当架け橋期
コーディネーター

原 南実子 先生

**架け橋期の保育・教育で大切なことを、
園校全職員で共通理解しよう！**

第3回 合同研修会（予定）

令和8年2月26日

@六浦南小学校

スタートカリキュラムを一緒に作ってみよう！

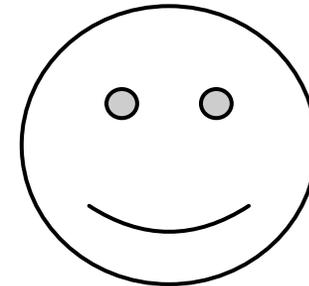
来年度のスタカリを、小学校の職員と保育園の職員でアイデアを出しながら一緒につくってみる研修です。

この時、小学校の職員は全員参加し、1年生だけでなく、それぞれの学年の視点で考えることで、自分の学年とスタカリとのつながりを見つけたいと考えています。

保育園の取組みを教えていただき、それをいかに生かしていくか、つなげていくか。ここから、来年度の取組みが具体的に見えてくると期待しています。

講師：横浜市こども青少年局
幼保小連携担当架け橋期
コーディネーター

原 南実子 先生



▶ 成果

- ▶ ・ 2年目は、保育園と小学校の合同研修や、職員交流に軸を置いて活動を行った。架け橋期の保育・教育で大切なことなど、園校全職員で共通理解を図ることができた。

特に小学校の職員にとっては重要な学びとなった。

- ▶ ・ とことん話し合う時間をとり、園小職員が本音で語ることができた。子どもたちの保育・教育にあたり、職員が同じ思いをもっていることが分かった。また、支援の具体を知ることができ、互いの今後に生かせることを実感した。
- ▶ ・ 職員同士も親睦を深めることができ、気軽に相談できるという安心感が生まれた。

課題と願い

- * 距離的に遠いため、また、交流したい時期が猛暑ということもあり、子ども同士の交流の頻度や時間の確保が難しい。
- * 来年度は、スタカリをみんなで検証したことを踏まえて、上学年の学びへとつなげていきたい。
- * 職員同士の顔の見える関係、相談したり質問しあったりできる関係作りを、更に深めていきたい。
- * 今年度の子どもたちの姿からできることをみつけ、子どもたちの声やつぶやきを拾い、思いを実現できるよう連携していきたい。